

# 大学生の就職率は過去最高98.0%の「全就職」時代、優秀な人材の争奪戦が激化 企業採用担当の63.6%が留学経験者を積極採用意向の一方、 留学経験がある大学生はたった3%

～採用担当の61.1%が留学中の学生のための選考（オンライン面接、採用時期の変更等）実施・強化意向～

文部科学省が官民協働で取り組んでいる留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」は、2018年5月に、インターネットにて「就職活動と留学に関する意識調査（大学生412名と企業の採用担当400名より有効回答）」を実施しました。今回の調査によって、留学経験者に対する企業採用担当の高い採用意向や、留学中の学生を採用するための選考を実施・強化する意向が浮き彫りになりました。

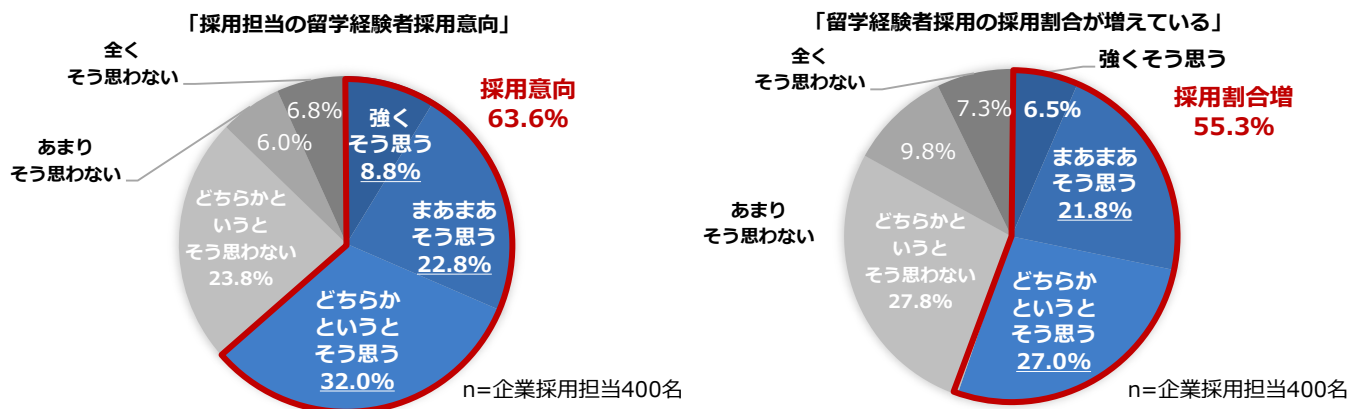
## ■留学経験者の超売り手市場！！

今春卒業した大学生の就職率は過去最高の98.0%※1となり、「全就職」時代といわれ、各企業は、優秀な人材を確保しようと争奪戦が激化しています。また2018年度、外国人留学生の採用を見込んでいる企業は57.8%と半数以上※2になり、日本企業のグローバル化への意識は年々向上。企業採用担当の63.6%が「留学経験者を積極採用したい」、55.3%が「留学経験のある学生の採用割合が増えている」と回答しました。一方、日本全体で留学経験のある大学生は増加傾向にあるものの約3%※3と非常に少なく、留学経験者の超売り手市場であることが見て取れました。

※1・出典：文部科学省「平成28年度大学等卒業者の就職状況調査」（2018年4月）

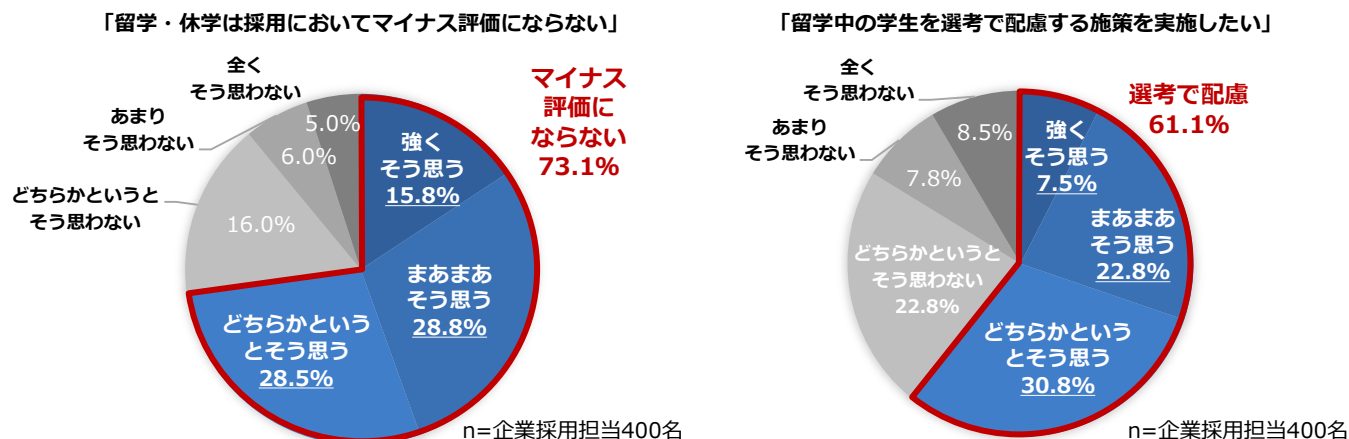
※2・出典：ディスコ「外国人留学生／高度外国人材の採用に関する企業調査」（2017年12月）

※3・「文部科学統計要覧」（平成27年度）大学生数と、日本学生支援機構平成27年度協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果より算出



一般的には、“留学するために留年や休学をすることは就活に不利”といわれることもありますが、企業採用担当の73.1%が「留年や休学は採用においてマイナス評価にならない」と回答。また、“留学から帰国すると就活が終わっていて不利”といわれることもありますが、61.1%が「留学中の学生のための選考における配慮（オンライン面接・採用時期の変更）を実施・強化したい」と回答。「トビタテ！留学JAPAN」支援企業でも、留学生向けの国内外就職イベントへの出展や、オンライン面接の導入、7月以降も採用を継続するなどの取り組みを実施しています。

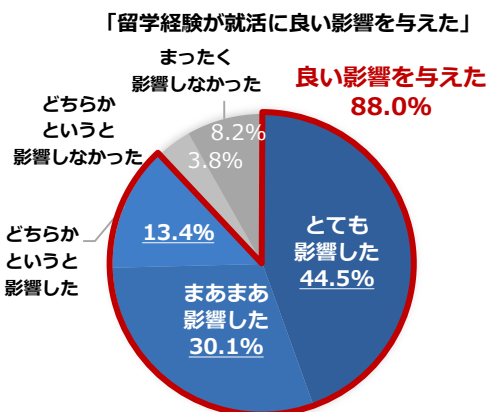
（7月以降も採用を継続する「トビタテ！留学JAPAN」支援企業：<https://www.tobitate.mext.go.jp/about/career/>）



## ■ 留学経験で得たチャレンジ精神や高いコミュニケーション能力が、企業の採用担当から求められている！

就職活動を経験した「トビタテ！留学JAPAN」派遣留学生の**88.0%**が「**留学経験が就活に良い影響を与えた**」と回答。「良い影響を与えた」理由については、「仕事の難しさや楽しさを学ぶことができた」、「自信をもって自分の経験を話せた」という回答が多く見られました。

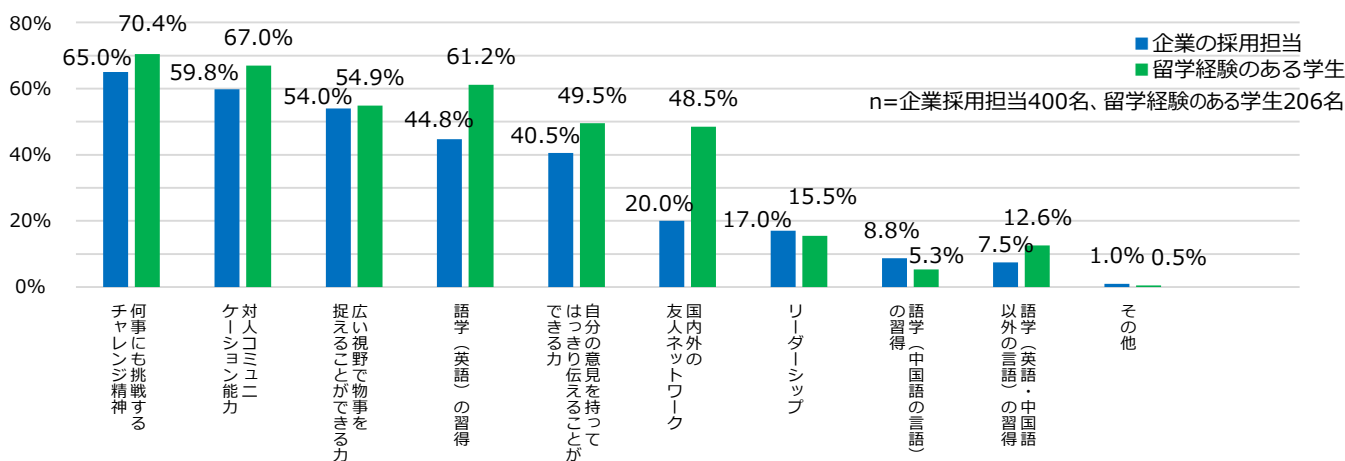
また、企業採用担当に、学生に留学で得て欲しいことを調査してみると、語学力だけではなく、「何事にも挑戦するチャレンジ精神」（65.0%）、「コミュニケーション能力」（59.8%）、「広い視野で物事を捉える力」（54.3%）と回答。これは、**留学経験のある大学生の「留学で得たこと」と一致していることが分かりました。**このほか、企業の採用担当の69.6%が「留学経験が仕事で役に立つ」、72.6%が「大学時代に留学した方が良い」と回答。約7割の企業の採用担当が、「大学時代に仕事で役に立つ留学経験を得てほしい」と考えていることが分かりました。



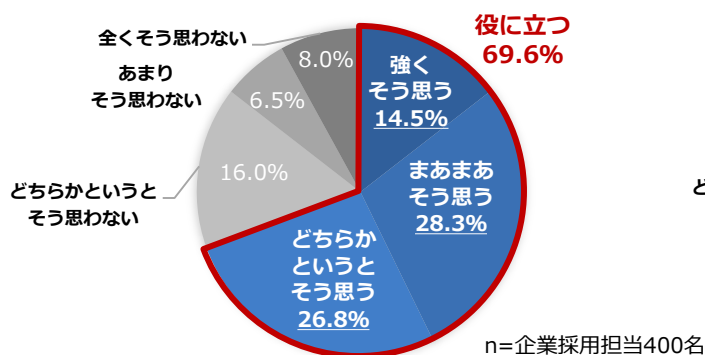
出典：文部科学省「派遣留学生の就職活動調査」（2018年4月）

n=就活経験のある「トビタテ！留学JAPAN」派遣留学生704名

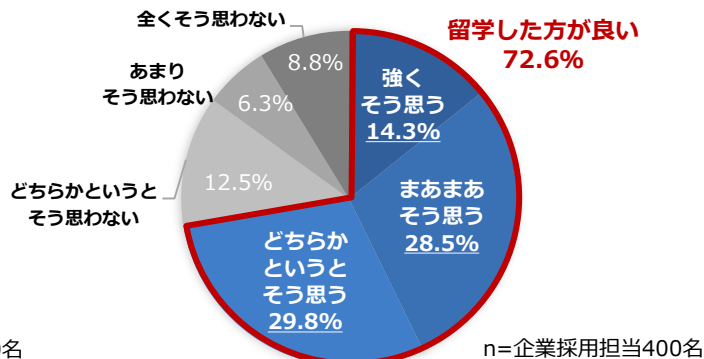
## 「採用担当の“留学で得てほしいこと”と、学生の“留学で得られたこと”」



## 「留学経験が仕事で役に立つと思う」



## 「大学時代に留学した方がいいと思う」



## ■「就職活動と留学に関する意識調査」 調査概要

対象：全国の大学生412名（留学経験者、留学未経験者各206名）全国の企業の採用担当400名  
※調査結果の数字は四捨五入のため合計値が必ずしも一致しない場合があります。

調査方法：インターネット調査

調査期間：2018年5月8日（火）～5月16日（水）

## ■「トビタテ！留学JAPAN」とは

文部科学省初の官民協働留学促進キャンペーン。2020年までに、海外留学する学生を倍増する目標を掲げてスタート。主な取り組みである「日本代表プログラム」は、100%民間の寄附を財源とし、民間企業約230社から116億円以上の寄附が集まり、返済不要の奨学金でサポートする留学支援制度です。留学期間を28日以上2年以内で自由に設定でき、渡航先100か国以上、多様な7コースを用意。座学だけではなく多様な留学を通じて、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で活躍できる人材の育成を目指し、既に5,000名以上を選抜し約100か国に留学しています。

## ＜本件に関する報道関係者お問合せ先＞

「トビタテ！留学JAPAN」PR事務局（株式会社サニーサイドアップ内） 担当：楠（070-3115-6616）、新井

TEL：03-6894-3200／FAX：03-5413-3050／MAIL：tobitate@ssu.co.jp

<https://www.tobitate.mext.go.jp/index.html>